

重点目標	具体的目標	アンケート質問項目	評価(4段階評価)					評価	運営協議会	分析
			児童	保護者	職員	平均	評価			
確かな学力の定着	「わかった」「できた」と実感できる授業展開と指導法の工夫	わかりやすい授業である。	3.7	3.9	3.6	3.7	3	3	○児童が主体となる授業となるよう、互いの授業を参観し合い、検証するなど日々授業改善に取り組んでいる。児童自身が「わかった」「できた」を体感するまでには至っていない。保護者には、授業参観等を通して、学習に関する高い評価をいただいた。 ○本年度より1ヶ月に1回「酒谷読書の日」として位置づけ、家庭での読書習慣を定着させる取組を行い、少しずつ定着が見られた。校内でも本と向き合う時間を意識して設定する必要がある。 ○1～3年生対象の日南キューブを使用した学習の取組はよかった。 ●児童が学習内容の定着を実感できるような取組を考えていく必要がある。 ●次年度以降も、読書についての取組は積極的に継続し、「旅する読書」についての周知を図る必要がある。	
		学習内容をよく理解している。	3.2	3.3	3	3.1				
	読書習慣の定着	進んで読書をしている。	2.7	2.6	3.2	2.8	2			
		「旅する読書」に積極的である。	2.8	2.3	3.6	2.9				
	学習訓練の徹底と複式授業の充実	進んで発表する。	3.2	/	/	3.2	3			
	授業と連動した家庭学習の推進	進んで家庭学習に取り組む。	3.4	2.8	3.2	3.1	3			
その他	デジタル教科書、タブレットを活用し、工夫した授業をしている。	3.9	3.3	3.6	3.6	4				
	舐肥杉積み木(日南キューブ)を活用している。	4	3.8	4	3.9					
豊かな心を育む教育	あいさつ運動の充実	家族・先生・地域の方に進んであいさつをする。	3.8	3.3	3.6	3.5	3	4	○児童自身の学校生活に対する満足度が高い結果となった。 ○地域の方との交流を通じた学習活動を通して、酒谷小で学ぶことや酒谷地区への愛着や誇りをもつことができている。 ○地域の方々に対しては、進んで気持ちのよい挨拶ができている。 ●学校内の人間関係の固定化により、言葉遣いや行動で思いやりが欠ける場面が見られた。今後も道德教育の充実を図る必要がある。 ●挨拶や返事が家庭や地域でも自分から進んで実践できるように、挨拶や返事の必要性や実践力を身に付けさせる指導が必要である。	
		元気のよい返事ができる。	3.4	3	3.4	3.2				
	いじめ防止基本方針の推進	友達と仲良く過ごしている。	3.5	3.5	3	3.3	3			
	道德教育の充実	友達に優しくしている。	3.5	3.5	3.3	3.5	4			
	その他	楽しく学校生活を送っている。	3.5	3.4	3.4	3.4	4			
		児童が活躍する場を作り、認め、励ましている。	/	3.8	3.4	3.6				
基本的な生活習慣(ルール・マナーを含む)が身についている。		3.5	3.4	3.3	3.4					
	酒谷小や酒谷地区を好き・誇りに思う教育がなされている。	3.9	3.9	/	3.9					
健康・体力安全の教育上の充実	基礎体力の向上	進んで運動をする。	3.4	3.1	3.4	3.3	3	4	○風水害や地震、火災など自然災害に対する避難訓練を行い、学校・家庭・児童それぞれが危機意識をもち、安全に行動することに対する意識の高まりがみられた。 ●基礎体力の向上については、学校では保健体育の観点から指導を行っているが、今後も継続して粘り強く指導をする必要がある。 ●早寝・早起きの部分について、十分に身に付いていない様子が見られる。個別指導や関係機関と連携した保健教育の充実を図る必要がある。	
		よい姿勢で過ごす。	2.8	3	3.1	3				
		早寝・早起き・朝ご飯	2.7	2.8	/	2.8				
	危険予測・回避能力の育成	安全に過ごしている。	3.7	3.4	3.3	3.5	4			
		安全に行動できる力が身についている。	3.7	3.8	3.9	3.8				
	家庭・関係機関と連携した食育・健康教育・安全教育の充実	関係機関と連携し、保健教育(食・健康・安全)の充実が図られている。	/	3.6	3.6	3.6	4			
	虫歯・肥満予防の指導を強化し、保護者へも啓発を行っている。	/	3.6	3.4	3.5					
開かれた地域とのくーりの推進と連携	学校の積極的な情報発信	ホームページや学校便り、文書・メール、学級通信により情報発信に努めている。	/	3.8	3.7	3.7	4	4	○学校・教職員に対し、いつでも相談できるという安心感が保護者にはあり、そのことが学校全体に対する信頼感を高め、学校行事に対する保護者の協力に表れていると感じる。 ○すべての児童が地域の方々の活動を楽しんでおり、充実感を得ている。 ○これからも地域に根ざした教育活動を推進し、ふるさとへのよさを知り、ふるさとを愛する児童の育成に努めたい。	
		悩みや困ったことを相談しやすい。	3.1	3.8	3.6	3.5				
	地域行事への積極的な参加	ふるさと学習(自然・産業・伝統芸能)を推進している。	3.7	3.8	3.7	3.7	4			
		地域の人材活用がなされている。	4	3.9	3.9	3.9				
	オープンスクールや参観日等の充実	家庭や地域と連携した教育活動が行われている。	/	/	3.7	3.7	4			
ボランティア活動	ボランティア活動を積極的に行っている。	3.7	/	3.4	3.6	4				

(保護者より)

○酒谷小で良かったと思うことだらけです。いつも手厚い支援ありがとうございます。

○地域の方のご協力もありがたかったです。田植え、稲刈り、もちつき、スポーツフェスタもとっても楽しかったです。

○子どもにとってプラスになるような新しい事を取り入れたり、今後も取り入れようとしてくれる姿があったりして、親としてありがたいです。

○入学前は、(みんな、どうしてこんな遠くに通うのだろう?)と思っていましたが、入学してからは酒谷小の魅力を知り、遠くから通う理由が分かりました。親も子も「酒谷小に縁があって良かったね」と毎日話す一年間でした。学級通信では、一日の様子を細かく知ることができ、子どもの体調を共有できたり悩みや困っていることも担任の先生に相談することができて、大変助かっています。いつもありがとうございます。

○2学年一緒に学習のため、時間を持て余すことがあるのが少し気になります。(学校運営協議会より)

○ほとんどの項目について評価が向上していることが分かる。「読書」と「早寝・早起き・朝ご飯」についての項目の評価が気になるころではある。「読書」については、今年度からの取組を継続していきながら、日南市の取組にも積極的に関わることができるような指導をお願いしたい。また、「早寝・早起き・朝ご飯」については、児童・学校・家庭とが一緒に学べる機会を設けるなどの工夫をして、児童の成長のために基本的な生活習慣を身に付けさせてほしい。

○今年度、地域の方々や保護者の協力の下、果樹園の「ビニールハウスの設置」まで実施することができた。児童たちが酒谷小で学べてよかったと思える活動にし、将来、大人になって酒谷に遊びに来てくれるような果樹園にしていきたい。児童が育てたい果樹(柑橘類)を話し合う場を設定し、児童も楽しみながら果樹園づくりを進めていきたい。

(学校の対応について)

○読書については、「酒谷読書の日」の取組を継続し、「旅する読書」については、保護者への周知を図っていくようにしたい。

○児童一人一人が【いつでも・どこでも・誰にでも】気持ちのよい挨拶や返事ができる指導を工夫改善しながら行っていきたい。